

## 門川町都市計画マスタープラン策定にあたって

町政 80 周年を迎える本町は、宮崎県北部の豊かな山・川・海を有する町として、これまで「日本一住みよい門川町」をスローガンに、時代の変化に対応した町政を進めてきました。その中で都市計画の分野におきましては、昭和 39 年に日向延岡新産業都市計画区域の指定を受け、東九州の中核を担う宮崎県北部の広域都市圏形成の一端を担う町として、無秩序な市街化の防止と計画的な市街化への対応を目的とした区域区分（線引き制度）の決定や土地区画整理事業をはじめとした計画的で良好な住宅地整備等の施策を進め、県北地域の良好な居住機能を有するベッタウンとして発展してきました。



しかしながら、近年の本町を取り巻く環境は、厳しい社会経済情勢の影響や本格的な少子高齢社会の到来等によって大きく変化してきており、都市・まちのあり方もそれらの情勢に合わせた転換が求められています。

この度、このような状況を踏まえ、本町が更に発展し、町民が実感する「日本一住みよいまち」の実現のために、町政 100 周年を迎える 20 年後を計画の目標期間とし、将来の都市像等をまとめた都市計画マスタープランを策定しました。

本計画では、『日本一住みよいまち（門川）』を目指して「～夢と希望に溢れた 人と自然にやさしいまちづくり～」をまちづくりの理念として、雇用の充実や居住環境の向上、本町の豊かな自然を活かした方針や具体的な取り組み等を、庁内関係課の横断的な組織によってまとめました。また、本計画で掲げる取り組みの実施にあたっては、町民との協働によって進め「町民一人ひとりが主役のまちづくり」を展開してまいりたいと考えておりますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり様々な意見を頂いた、町民の皆様をはじめ門川町都市計画審議会の委員の皆様には厚くお礼を申し上げます。

平成 27 年 3 月

門川町長 安田 修